



講師 **ふじもり ひろゆき**
藤森 寛行 考古・民俗研究者（郷土史家）

富士眉月弧文化圏

およそ 5500～4500 年前の縄文時代（新石器時代）中期には、多摩地域を含む圏内に「井戸尻文化」または「勝坂文化」と呼ばれる独特な文化がありました。

シリーズ 1・2 では、その哲学の中心であった八ヶ岳山麓から、関東西南部へと広がる視点で、縄文時代を見てきました。

シリーズ 3 では、逆に、われわれの住む多摩丘陵・相模原台地・武蔵野台地の出土物である石器・土器・土偶などから、その文化について理解を深めます。あわせて、現在の縄文時代像についても考えていきます。

講師紹介 **藤森寛行**（ふじもり・ひろゆき）

早稲田大学文学部卒業。故郷諏訪の郷土研究会、Suwa-Animism（スワニズム）諏訪信仰と中央高地の縄文時代について研究。会誌『スワニズム』に連載。多摩の勉強会「タマベン」講師。日本在来馬の繁殖育成、調教師。日野市立児童館勤務。

講座のテーマと内容

10時～12時

- ① 10月17日（土）あらためて縄文時代の基礎
- ② 11月21日（土）退屈？な石器の話
- ③ 12月19日（土）不思議な土器の絵柄

場 所 社会教育協会「ゆうりか」
 受講料 5,940 円（3回）
 申込み 下記の電話か FAX でお願いします
TEL 042-586-6221 FAX 042-589-3626
 対 象 どなたでも

旧石器・縄文の旅 諏訪と八島ヶ原湿原

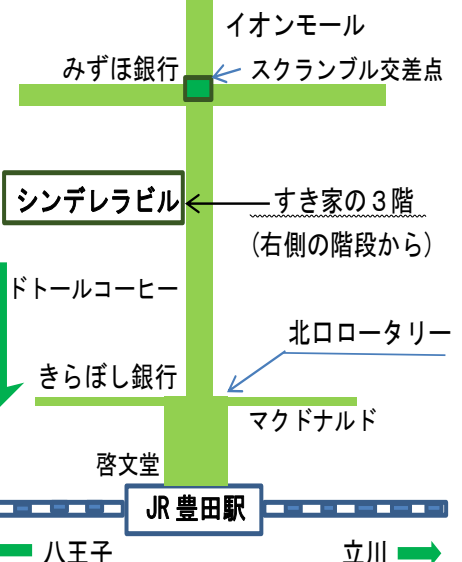
1泊2日の旅の実施については改めてお知らせします

主 催 公益財団法人 社会教育協会
 〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル 3階
<http://www.zaidan-shakyo.org>



「人面装飾」厚木市の遺跡

案内図



JR 豊田駅
 ← 八王子 → 立川 →